

昭和62年9月26日

社団法人 情報処理学会  
調査研究運営委員長 殿データベース・システム研究会  
主査 上林弥彦

## データベース・システム研究会継続について（お願い）

下記のとおり研究会の活動を継続致したく、よろしくお取り計い下さいますようお願い致します。

## 記

## 1. 継続希望研究会名

データベース・システム研究会

## 2. 継続の趣旨

データベース・システムの研究は、データモデル論からはじまり、効率向上のための質問処理、並行処理、さらに機能向上のための一貫性制約処理、回復処理、分散処理の研究および実際のシステム開発が行われてきた。最近、データベース周辺技術の進歩により、扱うべきデータの多様化（マルチメディア化）、応用の多様化（設計データベース、知識ベース等）にともない、再びデータモデル論が盛んになりつつあり、今まで事務処理データで行われた各種の研究をさらに一般化する必要がでてきている。また、データベースは高度情報化社会を支える基本的技術の中心ともなるべきものである。以上の理由により研究会の継続は必要と考え、お願いする次第である。

## 3. 研究分野

基礎理論, モデル, 設計, 言語,  
質問処理, 並行処理, 分散DB,  
DBマシン, アーキテクチャ,  
マルチメディアDB, オフィスシステム,  
CADDB, 知能DB

## 4. その他

なし

以上